

新除草・調節剤

HW-DP微粒剤 DPA・DCBN除草剤

(取扱メーカー) 保土谷化学工業株式会社
シエル化学株式会社

対象作物：灌排水路用除草剤

性状・作用特性：本剤はイネ科雑草防除に卓効を示すDPA(2,2-ジクロロプロピオン酸ナトリウム)10%および非ホルモン移行性のDCBN(2,6-ジクロロチオベンズアミド)5%を含有する微粒剤である。

毒性：人畜毒性は低く、急性経口毒性のLD₅₀値はDPA(ラット)が8120mg/Kg, DCBN(マウス)が1750mg/Kgで、両薬剤とも普通物である。魚毒性はTLM値がDPA(ニジマス)が約5,000ppm, DCBN(コイ)が37ppmである。

使用方法：この除草剤は、水稻を刈り取った後、灌排水路の水を落とし、10アール当たり6Kgを手まきまたは散布機を使用して、雑草の茎葉全面にむらなく散布する。除草効果は遅効性であるが、翌年の雑草の発生を抑制することにより、水稻栽培中の水路の水流をさまたげることなく、水路の除草作業を省力化できる。

使用上の注意：周囲のイネ科作物、牧草へ飛散しないように注意する。遅効性であるから、ヨシなどの雑草は本剤散布後は刈り込まないようにすること。

セレクト水和剤 CMPT除草剤

(取扱メーカー) 三共株式会社

(取扱メーカー) 北興化学工業株式会社
三井東圧化学株式会社

対象作物：裸麦(追加登録申請準備中、なお小麦二条大麦については既に登録取得済み)

性状・作用特性：本剤は有効成分として、5-クロール-4-メチル-2-プロピオンアミドチアゾール(CMPT)を50%含む類白色粉末の水和剤である。

本剤は雑草の生育期に処理する茎葉処理除草剤であり、選択性がすぐれているから、麦には害なく広葉雑草は勿論、スズメノテッポウ、スズメノカタビラ等のイネ科雑草にも強い効果をあらわす。

毒性：急性経口毒性はLD₅₀2,080mg/Kg(マウス)、亜急性毒性はマウスに対して4,000ppmのCMPTを含有する飼料を30日間連続投与しても影響は全く認めない。魚毒性については48時間TLM31.33ppmでA類である。なお、残留性については、土壌及び作物中での分解が速く問題ない。

使用方法：小麦、二条大麦に準ずるが、適用土壌は、砂壤土～埴土で、播種後1か月以内10アール当たり600～800gを70～100ℓの水にうすめ、雑草の茎葉に充分かかるように全面散布する。

使用上の注意：本剤は土壌処理効果がないので、雑草の発生前に散布しても効果がない。裸麦は小麦より抵抗性が比較的よわいので、第2葉が伸びきった時から第3葉の始まった時以後に散布すること。なお、本剤には展着剤が入っているので、展着剤の加用の必要はない。